



Japan Made

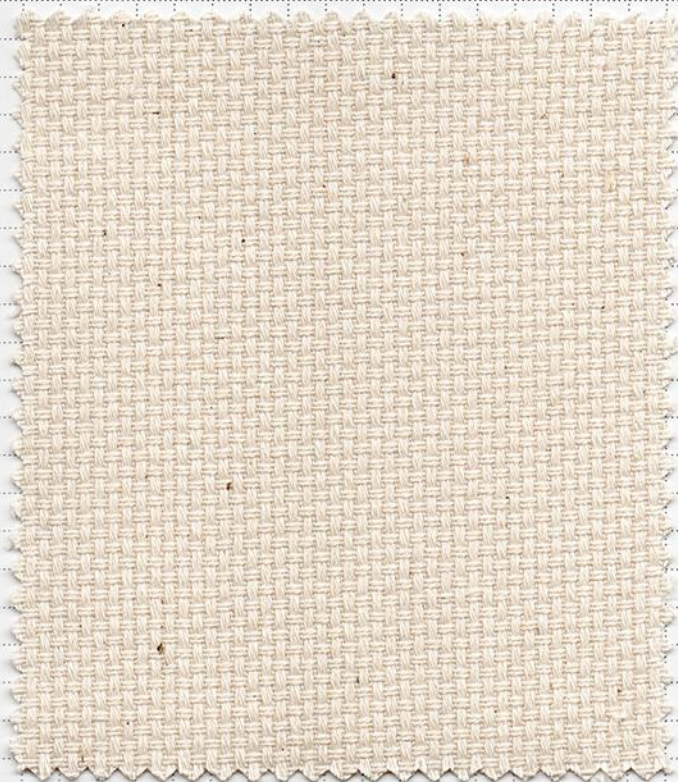
富士金梅®は川島商事株式会社の登録商標です。

刺し子織り

古来、刺し子地は、綿布を重ね合わせ、装飾として縦、横、斜めに刺し縫いすることにより幾何学模様や小紋などさまざまな柄を縫い込んだもので、おもに生地への補強と保温を兼ねたものでした。そのため東北地方などの寒冷地では、作業着として用いられ、また、江戸時代においては、丈夫な生地であることから火事装束として用いられていました。そして現代では、武道着や地下足袋などに用いられ、その日本の伝統的技術・技法は、今もなお継承され続けています。



K1423-キバタ (一重刺し子)
105cm×25m乱 丸巻



K1424-生成り・精練 (一重刺し子)
108cm×40m乱 丸巻



K1425-生成り・精練 (足袋底刺し子)
90cm×40m乱 丸巻



K1426-生成り・精練 (二重刺し子)
102cm×30m乱 丸巻